

2020年度の保全管理活動

【目次】

- | | |
|--------------------|----|
| 1. 2020年度の保全管理活動計画 | P2 |
| 2. つばさ北小学校 | P3 |
| 3. 桶川西高等学校 | P5 |
| 4. 東京デザイン専門学校 | P7 |

1. 2020年度のスケジュール

●前回報告（8月12日）からの進捗について報告します。

- つばさ北小学校 : 2月24日（水）中池サクラソウ移植地でたねのお渡し式とサクラソウ等の移植を同時開催予定
- 桶川西高等学校 : 10月18日（日）に秋イベントで科学部による水槽展示、放送部による司会を実施
- 東京デザイン専門学校 : 10月15日（木）にオリエンテーション、11月26日（木）に成果発表を実施
- 上尾ものづくり協同組合 : 9月に現地で実施予定であった社会貢献活動は新型コロナウイルス関係で中止
- 大和ハウス工業株式会社 : 下期の地域共生活動は新型コロナウイルスの関係で中止
- S財団 : 引き続き協議中
- （前回報告内容）
- 株式会社サイサン : 4月20日（木）に現地で実施予定であった新入社員研修は新型コロナウイルスの関係で中止

赤：当初予定からの変更箇所

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マーケット リサーチ									10日（火） ：本田航空 17日（火） ：Tコーヒー 25～28日（アーカイブは ～12/25 ：エコプロ2020 オンライン開催 （各自視聴）	10日（木） ：Tコーヒー			
協働・ 連携	つばさ北 小学校		上旬：環境学習① ：環境学習② （延期、中止）	環境学習① 29日（月）			29日（火） ：環境学習③ （中止）				●：環境学習④ （2月に変更）	環境学習② 24日（水） 予備日26日（金）： （サクラソウ移植）	
	桶川西高 校	29日（祝・水） かわじま輪中の郷 ウォーキング （中止）	（おけがわ春のふれあ いフェスタに別途出 展） （中止）					17日（土） →18日（日） 秋イベント：科学部・ 放送部協力依頼 （中止）	23日（祝・月） 川島町農業商工祭 ：科学部協力依頼 （中止）				
	東京 デザイン 専門学 校							下旬：成果発表→15 日（木） ：オリエンテーション	26日（木） ：成果発表	下旬：表彰式			
	NPO・ 民間企 業等	20日（月）午後 ：（株）サイサン 新入社員研修 （中止）	●：大和ハウス工業 （株） 地域共生活動 （延期）	17日（水）：OREC （乗用草刈り機試乗） 18日（木）：セブ ン・イレブン記念財団 （理事会）	15日：（公財）サ イサン 環境保全基金 助成申請〆切	●：上尾ものつ くり 協同組合 社会貢献活動 （中止）		10日（火） ：本田航空（株） ●：大和ハウス工業 （株）地域共生活動 （中止）					

2. つばさ北小学校

- 荒川の草花を育てようプロジェクト～荒川太郎右衛門地区自然再生地～の取組について、今年度は新型コロナウイルスの関係で授業数を確保することが難しく、自然再生地での活動を行えなかったため、6月29日につばさ北小学校の校庭に荒川の草花を移植しました。
- 学校での草花の移植以降、事務局で9月9日に学校の校庭に移植した植物の確認と、11月9日にたねの収穫状況について電話ヒアリングを行いました。
 - 1時限目：（6月29日）プロジェクトの概要説明と荒川の草花の移植作業（つばさ北小学校の校庭）【実施済み】
 - 2時限目：（2月24日）荒川の草花のたねのお返し式とサクラソウ等の移植作業（中池）
- 2月24日中池サクラソウ移植地において、たねのお渡し式とサクラソウ等の移植を同時開催することについて、つばさ北小学校から了解を得ています。

■つばさ北小学校の校庭に移植した植物

種名	
2019年	2020年
カワラケツメイ	キンミズヒキ
カワラナデシコ	クマツヅラ
メハジキ	
ユウガギク	



2019年に移植した区画（赤色枠）
2020年に移植した区画（水色枠）



ユウガギク開花の様子
（9月9日撮影）



キンミズヒキ結実の様子
（9月9日撮影）

- 11月9日電話ヒアリングにて、たねの収穫状況を確認しました。たね取りは、担任の先生と児童が行い、「5種類はたねを収穫できたが、ユウガギクは時期を逃してしまい収穫できなかった。各種小ジップロック1袋程度を収穫した。」と報告を受けました。

2. つばさ北小学校

●8月13日時点の中池つばさ北のフィールドの植生状況について報告します。

■中池つばさ北のフィールドに移植した植物

種名
カワラナデシコ
メハジキ
カワラケツメイ
ユウガギク



つばさ北のフィールド



メハジキ



カワラケツメイ



カワラナデシコ

3. 桶川西高等学校

- 10月18日（日）秋イベント当日に、桶川西高の放送部による司会進行と、科学部による出前水族館の展示・解説がありました。
- イベント当日に配布しました「たろうえもんすごろく」を、学校の水族館に訪れた人と共有したいと科学部から連絡があり、改めて10部提供しました。
- 今後の連携について、高校が主体となり「ペットボトルびんどう」を用いた水生生物観察会を開催することが可能との回答を得ています。後日、事務局にて現場確認したところ、中池エリアから旧流路へアクセスできる道を確認し、川岸に10人程度の滞留が可能でした。
- なお、開催日は学校スケジュール（試験日等）に配慮する必要があります。



放送部による司会



開会式



科学部による外来生物・在来生物等の
水槽展示・解説



科学部による外来生物
(ミシシippアカミミガメ・クサガメ) の展示

3. 桶川西高等学校

桶川西高等学校ホームページ

科学部

← 一覧へ

「親子で楽しくエッグハント」に出前水族館

投稿日時: 10/22 科 科学部 カテゴリ:

2020年10月18日（日）荒川太郎右衛門地区自然再生協議会主催のイベントに参加してきました！

昨年は台風19号の影響で中止となってしまったので、今年度が初めての参加です。



場所は荒川太郎右衛門地区自然再生地。本田航空の近く、荒川をはさんで桶川西高校と反対側にあります。

当日の参加者50名が4班に分かれ、エッグハントや昆虫観察、水生生物観察を順番にルートを変えて行いました。

我が桶西科学部は、そのうちの「水生生物観察」を任せられ、桶西水族館で飼育中の魚や亀を展示しました。ずらっと並んだ18本の水槽のそばで、科学部員が外来生物と在来生物の視点から説明をすと、身近に生息している生き物がこんなにいるんだ！と歓声をあげたり水槽をジッと観察したり、亀を触って喜ぶ子供たちの姿が印象的でした。



科学部員は翌日から中間考査というハードスケジュールでしたが、このイベントへの参加で、また一歩成長できたように感じます。



なお、当日の司会・進行は桶川西高校の放送部が行いました。放送部員もお疲れ様でした。

【番外編】

ハプニング！ ～「ウナギ」の大脱走～

展示していたニホンウナギが、準備中のドサクサにまぎれ、いつの間にか水槽のふたを押し上げ、逃げてしまいました。科学部員達の必死の捜索の甲斐あり、無事捕獲できました！ ホッ。



関係者の皆様、大変お騒がせいたしました<(_)>

4. 東京デザイン専門学校

- テーマ : 「荒川太郎右衛門自然再生事業のプロモーション」について、デザインによる問題解決を行う。
- 課題 : デザインの力で「太郎右衛門自然再生地」の価値を高めることを目的に、企画からデザイン制作までを行う。
3つの課題から、各自選択して取り組む。※去年はグループ課題、今年はWEB授業により個人課題となった。
- 受講者 : 東京デザイン専門学校ビジュアルデザイン科3年生26名(1クラス) ※去年は36名2クラス
- 当該講義 : 3年2期「デザイン研究2」 70分×2コマ連続講義×週2回(月・木)×5週間 ※2グループに分けて隔週登校
- 期間 : 2020年10月15日(オリエンテーション) ~ 2020年11月26日(成果発表) ※現地視察ナシ
- 今後の予定 : 2020年12月3日 本委員会において評価方針(案)を検討
12月25日 「表彰状及び感謝状」を授与・贈呈
2021年1月以降 広報WGおよび本委員会にてTDA成果の活用方針を検討



10/15 オリエンテーション
(Aグループは登校、Bグループはオンライン)



11/26 成果発表
(Aグループはオンライン、Bグループは登校)

4. 東京デザイン専門学校

- 学生が選択する課題は3種類。個人で課題に取り組む。
 - 課題A 「中池」誘致の広告（看板デザイン）
 - 課題B ニューノーマルなイベントの企画デザイン
 - 課題C 太郎右衛門自然再生地のプロモーションビデオ制作
- 各課題から、優秀作品3作品程度を採用する。



中池看板(表側)



中池看板(裏側)

■ 学生が与えられた「課題プリント」

デザイン研究 2020

荒川太郎右衛門地区自然再生事業のプロモーション

VD3_2期

テーマ： デザインによる問題解決

課題： デザインの力で「太郎右衛門自然再生地」の価値を高めることを目的に、企画からデザイン制作を行う。次に挙げる3つの課題から、各自で選択して取り組む。

課題 A：「中池」誘致の広告（看板）デザイン

ホンダエアポート周辺は来訪者は多いが、そこから太郎右衛門地区に足を向けてもらえていない。近くまで来た人を中池に呼び込む看板の企画デザインを提案する。

- 中池横堤にある看板裏面を活用する（協議会事務局が掲示）
- 地域名称である「中池」または「中池地区」を明記すること
- 制作データサイズ：縦 841mm× 横 1189mm、解像度 200dpi

活用イメージ：優秀作品4点程度を3ヶ月周期で掲載予定

提出物：プレゼンデータ（PDF）、広告デザインの完成データ

課題 B：ニューノーマルなイベントの企画デザイン

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は従来開催していたイベントは相次いで中止となっている。コロナ禍に相応しいイベントの企画とイベントアイテム（3点程度）を提案する。

- 開催場所：中池地区
- イベント参加者のターゲット：親子
- 2021年1月以降に実施可能なイベント

*従前のイベント予算はサイサン基金助成を活用。参加費は保険料のみ。

活用イメージ：優秀企画については、実際のイベントとして採用予定

提出物：プレゼンデータ（PDF）、イベントアイテムの完成データ

課題 C：太郎右衛門自然再生地のプロモーションビデオ制作

太郎右衛門自然再生地の認知拡大を目的とした映像企画と作品を提案する。

- YouTubeで再生することを前提に制作。（プレゼン時もYouTube上で再生）
- 映像は90秒まで。（30秒×3本可）
- ターゲットは提案する企画に応じて各自で設定

活用イメージ：優秀作品3～5点を選出して、荒川上流河川事務所のHPやFBからリンク。

提出物：プレゼンデータ（PDF）、映像データ（mp4）

各課題の共通事項

- 次の2項目について、必ず明記すること
 - ・荒川太郎右衛門地区自然再生事業
 - ・荒川太郎右衛門地区自然再生協議会と東京デザイン専門学校2020年度ビジュアルデザイン科3年生との連携企画です
- 言語は日本語
- 協議会事務局から提供された写真や映像を使用することができる
- キャラクター「たるえもん」の使用も可

評価基準：①企画 ②デザイン ③アイデア ④実現性 ⑤汎用性 各5点（25点満点）で評価

最終プレゼン&提出日 11月26日（木）

*第1グループはオンラインで授業に出席。データの提出方法については、別途指示します。

4. 東京デザイン専門学校

- 11月26日の成果発表は、教室参加とオンライン参加の2グループに分かれて、行われました。
- 協議会からは、堂本委員長に加え、事務局4名の計5名が参加しました。
- 発表課題は、課題Aは6提案（うち1名欠席）、課題Bは13提案（うち1名欠席）、課題Cは7提案でした。

2020東京デザイン専門学校・荒川太郎右衛門地区自然再生事業プロモーションの全提案タイトルと表彰候補（案）

■課題A：「中池」誘致の広告（看板デザイン）

番号	提案タイトル	表彰候補
A-1	いきものマップ	
A-2	中池に行く！看板デザイン	
A-3	子供向けのカラフル看板デザイン	(欠席)
A-4	たろえものの冒険（迷路）	優秀賞
A-5	荒川の再生(Rebirth of Arakawa) ゲーム風デザイン	
A-6	中池のいきものたちを見つけてみよう！	優秀賞

■課題B：ニューノーマルなイベントの企画デザイン

番号	提案タイトル	表彰候補
B-1	目指せ完成！荒川の生き物ずかん写真ラリー	
B-2	巨大すごろく	優秀賞
B-3	たろえもんクイズラリー	
B-4	親子でなろう！外来植物ハンター	
B-5	たろえもんといきものスケッチ	最優秀賞
B-6	荒川の自然をスナップしてコレクションするイベント企画	優秀賞
B-7	自然を学びながら、オリジナルフォトカードが作れるイベント企画	
B-8	荒川を見てぬろう！知ってぬろう！「生き物ぬり絵」	
B-9	楽しく学んでスタンプを集めて「荒川太郎右衛門マスター」を目指そう！	
B-10	ワクワクたろえもんスタンプラリー	
B-11	いくつ見つかる？生物クイズ	(欠席)
B-12	もっと荒川の生き物を知ろう！クイズハイキング	
B-13	「荒川 灯ろうまつり」たろえもんを灯せ	優秀賞

■課題C：荒川太郎右衛門自然再生地のプロモーションビデオ制作

番号	提案タイトル	表彰候補
C-1	たろえものの冒険	
C-2	Taroemon's Journal	優秀賞
C-3	参上！！荒川太郎右衛門	
C-4	humble	
C-5	荒川の自然	
C-6	荒川太郎右衛門地区を知ろう！	優秀賞
C-7	荒川太郎右衛門の紹介動画	優秀賞

注：原題における「太郎右衛門」の文字に誤字が多くみられましたが、ここでは修正しました。

4. 東京デザイン専門学校

- 各課題から3件程度、計9件を表彰対象（採用提案）とします。
- 課題Aは提案数が少ないことから2件を選定、課題Bは作品数が多いことから4件を選定することとしました。
- 選考結果（案）を以下に示します。

2020東京デザイン専門学校・荒川太郎右衛門地区自然再生事業プロモーション提案の選考結果（案）

【課題A：中池看板】

提案タイトル	概要	賞	選考理由
中池のいきものたちを見つけてみよう！	中池の生き物を紹介するデザイン。	優秀賞	看板の中に11種類ものいきものが描かれていて、生き物を見たいと思う人の関心をひきやすいアイデア・デザインとなっている。
たろえもの冒険（迷路）	自然再生地の地図に迷路を描き、上池から中池にたどり着くもの。	優秀賞	中池への誘致を狙った迷路のアイデアや動物のキャラクターが小さな子どもでも関心を惹きやすいデザインとなっている。

【課題B：ニューノーマルなイベント企画】

提案タイトル	概要	賞	選考理由
たろえもといきものスケッチ	昆虫などの希少な動植物を探してスケッチを描き、みんなで荒川の生きもの図鑑をコンプリートする企画。	最優秀賞	自由帳をモチーフに観察ノートやポスターのデザインが優れており、コンセプトが環境学習やイベントでの実現性が高い企画となっている。
巨大すごろく	スマホのGPS機能と既存アプリを活用して、現地ですごろくをしながら自然再生地を体験する企画。	優秀賞	あらたなターゲット層を目的にスマホのGPSマップを使用した企画であり、すごろくのコマやポスター、エコバックが可愛いデザインとなっている。
荒川の自然をスナップしてコレクションするイベント企画	生きものや植物の「スナップショット」を撮影して、スクラップブックを作る企画。	優秀賞	どの季節でも生き物の写真を撮りながら、スクラップブックを完成させて学べる企画であり、フライヤーやスクラップブックのデザインが探究心をいだけせるデザインとなっている。
「荒川 灯ろうまつり」たろえものを灯せ	組み立て式灯ろうを事前に配布し、あらかじめ着色してもらったものを現地で夜に設置して鑑賞する企画。	優秀賞	生き物や自然に関心がない人達を自然再生地に呼び込む企画であり、たろえものイメージキャラクターをモチーフにした灯ろうキットやポスターのデザインが興味をいだけせるデザインとなっている。

【課題C：プロモーションビデオ】

提案タイトル	概要	賞	選考理由
荒川太郎右衛門地区を知ろう！	自然再生の事業や取り組みや動植物を紹介するもの。	優秀賞	テンポの良いミュージックと目を惹くデザインにより、事業の取り組みや動植物を紹介しているプロモーションである。
Taroemon's Journal	ドローンの映像を使いながら生き物写真を連続的に紹介するもの。	優秀賞	現地の状況をわかりやすく、自然再生地を擬似的に冒険しているようなプロモーションである。
荒川太郎右衛門の紹介動画	ドローンの映像と写真を組み合わせて自然再生地を紹介するもの。	優秀賞	イベントやボランティア活動の取り組みや生き物をバランスよく紹介しているプロモーションである。

4. 東京デザイン専門学校

○今後の進め方（案）

- 12月25日に東京デザイン専門学校へ出向いて【選考結果報告（表彰）】及び【表彰状・感謝状贈呈】を行う。
 - ✓ 本日（12/3）の維持管理・環境管理専門委員会では、提案内容の評価を行い、「選考結果（案）」をまとめる。
 - ✓ 今後、東京デザイン専門学校へ評価結果を報告し、浅枝会長の承認を得て「選考結果」とする。
 - ✓ 感謝状は、浅枝会長名で贈呈する。
- 来年度もTDAとの関係性を継続し、連携した取り組みを実施していただけるよう、意見交換を重ねていく。
- 最優秀賞、優秀賞以外にも活用したい企画があるため、協議会で話し合いながらTDAと協議し、活用していく。

【スケジュール】

項目	R2年11月	12月		R3年1月	2月	3月
東京デザイン専門学校	プレゼンテーション [26日]		評価結果報告	選考結果報告 表彰状・感謝状贈呈[25日]	次年度の取り組みについて意見交換	
委員会・協議会		◇維持管理・環境管理専門委員会[3日]		◇広報ワーキング ◇運営委員会	◇協議会	◇維持管理・環境管理専門委員会 ◇イベント実行委員会
表彰状・感謝状の贈呈		検討調整				
選考結果の報告		検討調整				
浅枝会長の承認			承認			